

2013年
10月号

国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所発行(No.76)

Mini-WAN

～三河港湾事務所だより～



TOP NEWS!

三河湾環境チャレンジ

9月19日に蒲郡市主催の「三河湾環境チャレンジ海環境学習」が竹島小学校4年生10名を対象に開催されました。このイベントは、三河湾の環境について児童の疑問を解決するとともに、さらなる疑問が浮かぶような題材を提供することを目的として開催されています。

当日は、当事務所の港湾業務艇「しおさい」を使用した船上学習として、「NPOシーブリーズ三河湾」の方や「蒲郡市企画広報課」の方、当事務所職員が講師として乗船し、竹島や西浦、東幡豆周辺を航行しながら、三河湾の水温や透明度、プランクトンの発生状況などを調べました。

観察した結果、プランクトンが大量発生しており、海の状態を見た児童からは「海の色が赤茶色い」、「海の色が全然違う」など、普段と違うことに驚いていました。また、透明度の調査では測定する地点によって透明度が違い、「この場所の透明度が一番高い」などの感想が聞かれ、三河湾の環境について興味を持ってくれました。

当事務所では、多くの方々に三河湾の環境についてより理解を深めていただけるよう、今後もこのような支援活動を行っていきたいと考えています。



水質調査の様子



プランクトンが大量発生した海
(出典:三河湾データブック2009)

赤褐色のプランクトンが大量発生することで海面が赤褐色に変化します。この現象を「赤潮」といいます。



左) 水温測定中
右) 職員による説明



三河港湾事務所ホームページ <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>



みかわこうわん
三河港湾

検索

■みなとふれあい体験イベント■



8月29日、豊橋市産業部主催による「コンテナターミナル見学と船上セミナー」が開催されました。

この見学会は、多くの市民の方々が港に訪れ、港への関心と親しみを深めてもらうことを目的とした「みなとふれあい体験事業」として、開催されており、当事務所も協力しております。

当日は23名が参加し、カメラリアにおいて三河港の概要説明を受けた後、当事務所の港湾業務艇「しおさい」に乗船し、船上から三河港を見学しました。参加者は豊橋市在住の方達で、三河港が世界でも有数の自動車を取り扱っている港ということや、PCC船（自動車を運搬する船）の大きさについては、知らなかったようで、非常に驚かれていました。

このイベントを機会に、三河港により興味を持って頂ければと思います。



乗船する様子



職員による説明

■愛知大学による三河港視察■



カメラリアから



職員による説明

9月6日、愛知大学中部地方産業研究所（東三河地域の産業・経済動向を学術研究している愛知大学の教員等の方で構成される会）の方17名が、次期出版物「東三河の経済と社会 第8巻」の執筆の事前研究として、三河港を視察されました。

カメラリアからの陸上視察と当所の港湾業務艇「しおさい」からの海上視察が行われました。絶え間なく写真撮影され、また、港の立地企業、覆砂の効果、航路の深さ等の三河湾に関する様々なことに関して質問されておりました。

三河港湾ギャラリー



作品No.14 流木の上でひとやすみ
(船上からの風景)



海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル
おいに よくなれ みなと
0120-497-370

受付時間※/9:00～12:00と13:00～17:00
(土・日・祝祭日を除く)
※一部の地域を除きます。

国土交通省 中部地方整備局



三河港湾事務所
〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1
TEL 0532-32-3251 FAX 0532-32-5049

衣浦港事務所
〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地
TEL 0569-21-2311 FAX 0569-21-2312

<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>